

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代表）

担当：呼吸器外科 大坪巧育

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器外科 大坪巧育

肺がんに対する手術を受けた方を対象とした

術後の肺機能に関する研究

1. 研究の対象

当院呼吸器外科において、2004年1月から2021年2月までに、悪性腫瘍に対する肺葉切除術を受けた方を対象としています。

2. 研究の目的・方法

近年、肺癌に対する肺切除において様々な手術方法や技術の進歩により、これまでよりも多くの方が手術をより安全に受けることができるようになってきています。そして、手術にあたり必ず行われる検査の一つに肺機能検査(スパイロメトリー)がありますが、その検査結果を基に肺切除後の呼吸機能値を予測しリスク評価を行っています。しかしながら、術後に肺機能検査を再度行うと術前の予測値との間に差が生じていることがあります。これまでの研究で、手術方法の違い(開胸手術か胸腔鏡手術か)が影響を与えていることが分かってきておりますが、より正確な評価を行うためにも今後さらなる研究が必要と考えております。本研究では、切除後肺機能予測値と実測の切除後肺機能値とを比較し、予測との差に影響を与えている因子を検討することを目的としています。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年2月までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

<<情報>> 病歴、身体的特徴、喫煙歴、血液検査データ、呼吸機能検査、画像データ、手術内容、カルテ番号、術後入院経過 等